

香川県プランクトン情報（第 24 報）

令和 8 年 8 月 24 日発行

小豆島の北側と白鳥沖にシャットネラ・オバータやアンティカがみられました（最大 1.7cells/ml）。

全般に植物プランクトンが少ない状況で、播磨灘では透明度が 10m を超える観測点が多いものの、水深 20m 付近にクロロフィルが高い層がある場合があったため、採水して確認したところ、おもに珪藻複数種により構成された群衆で、有害種のブルームではありませんでした。

有害プランクトン調査結果（海水 1 ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・ アンティカ	シャットネラ・ マリーナ	シャットネラ 2 種合計値	シャットネラ・ オバータ	カレニア・ ミキモイ	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	シュードシャットネ ラ・ベルキュローサ	シャットネラ・ グロボーサ
虻崎	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0
	10	0.7	0	0.7	1.7	0	0	0	0
千振	0	0.7	0	0.7	1.0	0	0	0	0
	10	0.3	0	0.3	0.3	0	0	0	0
妙見	0	0.3	0	0.3	0.3	0	0	0	0
	10	0.7	0	0.7	1.3	0	0	0	0
K1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0.7	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0.7	0	0.7	0.7	0	0	0	0
	10	0	0	0	1.3	0.3	0	0	0
	B-1	0	0	0	0.7	0	0	0	0
K6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
SH	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
観音崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0

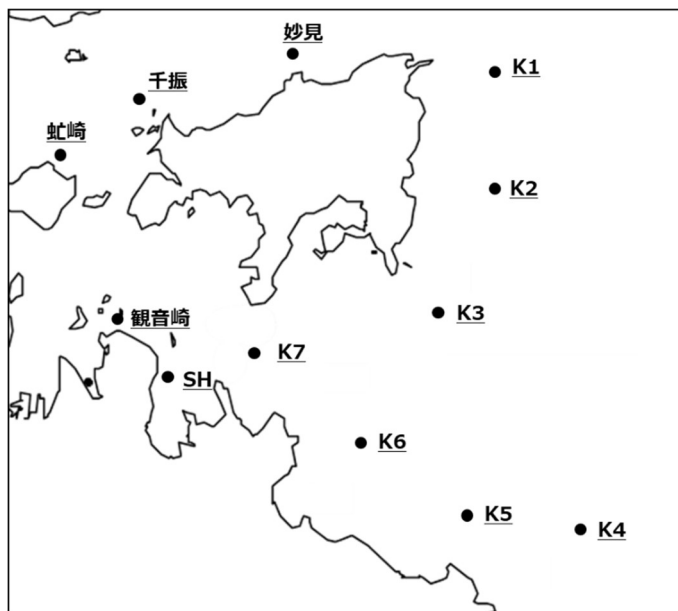
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:吉田・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課豊かな海づくり・漁港整備グループ(担当:澤田・秋山) 電話 087-832-3474

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：赤潮対策技術開発試験事業）



* 夏季の有害プランクトン調査は、通常は 7 定点(K1～7)で行っています。

有害種の発生が見られる場合等、状況に応じて 5 定点(虻崎、千振、妙見、SH、観音崎)を追加しています(臨時調査定点)。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (2 種の合計値)	10 細胞/mL (2 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ	1 細胞/mL	10 細胞/mL
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	－	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	－	50 細胞/mL